

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の大型店2店舗が改装オープンしたことで、商店街の来客数が増え、飲食店や生地屋、眼鏡屋、カメラ屋などの店で前年の売上を上回った。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・気温が暖かくなり、客が外に出る機会が増えたためか、来客数が増加している。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・例年、3月上旬は卒業式用に、下旬は入学式用にと、スーツの売上が大半を占めるが、今年は、スーツの売上が例年より多くなっている。また、それに合わせてインナーやコートをまとめ買いする客が多い傾向にある。
		衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・客の購買意欲はまだまだ低いという印象を受けるが、札幌駅の大型複合商業施設がオープンしたことで来客数が増加した。
		乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・今月に入って、販売量の動きが良くなってきている。前年と比べても、販売量の伸びは大きい。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・地元客のレストラン利用および宴会利用、宿泊と全部の業態にわたって来客数が増加した。合格祝いや歓送迎会などでの利用も顕著に増加していた。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・先月から団体客の来店が多く、昨年のこの時期に比べると、多少ではあるが売上が増えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・札幌駅の大型複合商業施設が開業したことにより、タクシーの利用が少し増えている。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新商品の販売状況が予想以上に好調であり、第三世代の携帯電話の販売量も軌道に乗ってきた。
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・化粧品店の販売店では、学生の卒業などに伴い来客数が増加しており、化粧品の動きが良くなっているが、全体としては変わらない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・札幌駅の大型複合商業施設のオープンにより、全体的な人出はかなり多くなっているものの、札幌駅より少し離れた場所では、買物客がそれほど増加していない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・イラク情勢や選挙運動などの影響で、何となく客の気持ちが落ち着かない状況であり、売上に結びつかない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年同月の規模を確保しているなど、全体としては変わらないが、天候の影響もあり、春物衣料の買い渋りが非常に多くみられる。また、内祝いギフトにおいても、例年より下見客や大口購入客が少なく、非常に厳しい状況にあることに変わりはない。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は前年並みだが、客の買上金額は前年よりも減少しているように、安い商品を志向する傾向が依然として強くある。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・客数が増加している傾向に変わりはない。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・本来、3月はシングル需要で12月以上の最商戦時期であるが、来客数が前年の90%台にとどまり、客単価もダウンしている状況であり、全体としては変わらない。
		住関連専門店（営業担当）	単価の動き	・客単価が前年同月より数%ほど減少していることに加えて、来客数も前年同月を下回っており、これまでと同様に売上の増加を期待できない状況である。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・イラク情勢を反映してか、北海道観光客が増加しており、観光客の来店は良い状態であるが、全体としては変わらない。
		高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・レストランの夕食については、団体予約が増えたことから売上は前年並みとなったが、昼の個室利用が減ったため、全体では前年の売上を少し下回っている。こうした状況は変わらない。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・前年同月に比べて来客数が増えており、5か月連続での伸びとなっているが、イラク情勢が始まってからは来客数が減少している。		

	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・卒業祝いや入学祝いでお金がかかることから外食を控える傾向がみられ、来客数が減少しており、全体としては変わらない。
	観光型ホテル (経営者)	単価の動き	・現在の宿泊単価は、これ以下はないという状況であり、付帯収入についても、地元客を中心に3か月前並みの水準に回復基調にあるなど、全体として下げ止まりの感がする。
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・前年同月に比べて、月の前半の来客数は多かったが、後半は少なかったため、全体としての来客数は、ほとんど変化していない。同業他社についても、同様の傾向がみられる。
	観光名所(職員)	来客数の動き	・イラク情勢のためか、来客数が減少している。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・このところ客の来店周期にあまり変化がなく、固定化されてきている。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・3月は個人的な出費が増える時期であるが、先行きが不安なため、買物がより慎重になっている。
	一般小売店[土産](店員)	お客様の様子	・例年は、学校や企業内での人の出入りが増えるという季節的要因から、空港の売店においても来客数が増加するが、今年は、そのような季節的要因による売上増加がみられない。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・客の様子から、特に中高年層以上の客はとても慎重な買物をする傾向がみられる。
	スーパー(店長)	それ以外	・引き続き一点単価が上がらず、なおかつ商品の回転数も上がっていない状況であり、客は買物に対してよりシビアになっている。
	スーパー(企画担当)	競争相手の様子	・競合各社の価格訴求を強めたチラシ合戦は激しさを増しており、大手量販店も含めた日々の低価格競争はますます厳しさを増している。
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・産業幹線沿いの店舗で、客数の減少が特に目立つ。
	コンビニ(店長)	来客数の動き	・例年に比べ気温が非常に低く、雪解けが遅かったため、客足が鈍くなったのではないと思われる。
	家電量販店(経営者)	お客様の様子	・客は来店しても、なかなか買おうという意欲が感じられない。また、高額の商品も売上に結びつかず、商売をできるような雰囲気がない。
	家電量販店(地区統括部)	販売量の動き	・来客数は前年をキープしているものの、消費マインドが冷えているため、売上が増えていない。特に、シングル需要は伸びがみられない。
	家電量販店(店員)	来客数の動き	・今月に入り来客数が1割ほどダウンしており、客単価も前年を下回っている状況となっている。
	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・最需要期であったが、昨年と比較して販売量はかなり落ち込んだ。新規の来客数も少なかった。
	住関連専門店(従業員)	それ以外	・買い控えが続いている。
	その他専門店[ガソリンスタンド](経営者)	単価の動き	・客の節約傾向のため、販売単価が低下している。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・選挙のある年は、人出がなくなる。
	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・イラク情勢が始まる前後から、海外旅行の申込みが低迷している。また、国内旅行へのシフトも顕在化していない状況である。
	観光名所(役員)	販売量の動き	・ロープウェイ利用客は微減にとどまっているものの、販売額は対前年比で1割ほどの減少となっている。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・政治や経済が激動している現在、消費者がお金を使うことをためらっているように感じる。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・来客数、客単価とも伸びていない状況である。
	住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・営業上の来客数がとても減少しているのが気になっている。販売内容も小規模になっており、かなり低迷している。

悪く なっている	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・札幌駅の大型複合商業施設のオープンがしたことで、駅前地区の活性化につながることを期待していたが、来客数の割にはあまり売上につながっていないように思える。昨年は3月上旬より気温が高く、春物衣料が活性していたが、今年は気温が下旬まで上がらなかったため、春物衣料の動きが鈍く、購買の山が少し後ろにずれていることが要因と思われる。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は対前年比で90%程度であり、前月対比ではやや悪化している。また、客単価も前年を下回って推移している。更に、1月まで堅調に推移していた旅行部門もイラク情勢に起因し、対前年比で2割以上悪化している。	
	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・店内に入る人数は多いが、商品を買わない傾向が更に強まっており、客の消費はそれほど伸びていない。	
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・最近では、売り出しセールや展示会を開催しても、以前のように来客数が伸びず、売上が落ち込んでいる。	
	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・千人単位で来客数が減少しており、異常としか言いようがない状況である。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・例年3月は、歓送迎会がたくさん行われるが、今年は、今までにないほど減少しており、飲食店街にくる人も減少している。同業者も今年は宴会の数が激減したと聞いている。	
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・イラク情勢や重症急性呼吸器症候群騒動により、海外旅行のキャンセルが相次ぎ、新規申し込みも極めて少ない。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・イラク情勢により、客の海外旅行熱が冷える。	
	旅行代理店（従業員）	それ以外	・イラク情勢や東南アジアにおける重症急性呼吸器症候群の件から、旅行の見合わせが多く、海外旅行は打撃を受けている。国内旅行が堅調であれば良いが、国内旅行も勢いがある訳ではない。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・香港、中国での重症急性呼吸器症候群騒ぎ、イラク情勢による影響が国内旅行にも出ている。		
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・家具産業全体としては縮小方向にあるが、高級品など、部分的には、横ばい、あるいは拡大方向にある。
変わらない		通信業（営業担当）	取引先の様子	・経費削減のための投資ではなく、業務拡張のための積極的な投資が数件みられた。ここ数か月はあまりみられなかった傾向である。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・イラク情勢の影響による燃料の高騰が悪影響を及ぼすのではないかと懸念している。
	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・農産物の倉庫保管数量は増加したものの、出荷および輸送数量は低調に推移しており、全体としては変わらない。	
	通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・需要自体は平年並みだが、価格面でデフレ圧力が強く、収益と景況感を圧迫する要因となっている。	
	金融業（企画担当）	それ以外	・設備投資の資金需要は乏しい。燃料店や運輸業者などでは、イラク情勢による石油製品の価格動向を懸念する声が多い。	
	司法書士	取引先の様子	・土地の取引や、建物の建築状況から判断して、全体では変わらない。	
	その他企業〔コンベンション担当〕（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・前年と比較して来客数は増加しているが、消費単価が下がっているため、売上金額的にみると横ばい状態である。	
やや悪く なっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・海外情勢の影響から、一部の商品で値上がりがあるうえ、医療費など公的支出の大幅増加も見込まれているため、食費などの切詰でカバーしようとする動きがみられる。	
	食料品製造業（団体役員）	それ以外	・受注量や受注単価の底打ち感はあるものの、企業間の経営体質の格差拡大がはっきりしてきている。また、製造業の求人数が大幅に減少している。	

		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出動向も絡み、鋼材の一部には出荷数量が増加したものもあるが、その他の業界では年度末とはいえ、荷動きに変化がみられない。また、製紙業界では、現在、順調に出荷が推移しているが、古紙の値上がり等もあり、輸出を中心に今後減少に向かうものではないかとの心配も出ている。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・倒産や手形書替などが増える傾向にある。
	悪くなっている	金属製品製造業（統括）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅向け商品の販売量が対前年同月比で30～40%の落ち込みであり、また、関連業種においても同様な動きが感じられる。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌駅の大型複合商業施設のオープンにともなう求人が一段落したが、これまである程度静観していた、その周辺地域の求人が活発に動き出している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・有効求人倍率は8か月連続で、前年同期を上回っている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度に向けての求人数が例年よりも少ない。また、契約更新時に料金据え置き企業が多い。
		求人情報誌製作会社（編集者）	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・全求人件数のうち、正社員の割合は1割を割り込み、パートやアルバイトなど労働期間を定めた雇用形態が大幅に増加している。なかでも請負契約の増加が顕著である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・広告主による媒体の選別が顕著になっている。求人広告売上は底を打った感はあるが、広告需要そのものは落込んでおり、楽観を許さない状況である。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求職者、新規求人数ともに増加しているが、紹介件数、就職件数は変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の2月の有効求人倍率は0.40倍で、対前年同月比で0.07ポイント上回ったものの、相変わらず低い数値で推移している。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・決算期を迎える企業が多いが、売上、利益とも前年割れの話が多くなっている。春を迎えるに当たって、土木・建設業者からの受注拡大の話も少なく、流通業者からも業績に当たっては良い話がない。ベースアップの話にしても、今春は期待できないようである。
職業安定所（職員）		求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求人が対前年7か月連続減少し、有効求人も11か月連続減少している。 	